

## 「北国の省エネ・新エネ大賞」受賞者を発表します

～ 大賞は、幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム  
「そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業」～

2026年1月29日

経済産業省北海道経済産業局

(本発表資料のお問い合わせ先)  
経済産業省北海道経済産業局 資源エネルギー環境部  
エネルギー対策課 課長：高橋 育男  
担当：佐々木、櫻庭、堀切  
電話：011-709-2311(内線2635)  
E-mail：[bzl-hokkaido-energy@meti.go.jp](mailto:bzl-hokkaido-energy@meti.go.jp)

# 本資料の目次

スライド1：はじめに

スライド2：「北国の省エネ・新エネ大賞」（北海道経済産業局長表彰）の概要

スライド3：受賞者リスト

スライド4～8：受賞者（大賞及び優秀賞）の概要

スライド9：『表彰式』及び『省エネセミナー』開催概要

- 当局では、道内の企業や団体等における省エネルギーの取組及び新エネルギーの導入を促進するため、省エネ法や再エネ特措法に係る業務をはじめ、設備更新、省エネ診断など支援策の活用促進、そして地域共生を図る自治体連携等を図り、エネルギーに関する施策展開に取り組んでいます。
- その一環として、道内における省エネルギー・新エネルギーに関する有効利用、開発及び普及に係る取組等において、著しい成果及び功績があり、他の模範となる組織・個人を表彰する「北国の省エネ・新エネ大賞」(北海道経済産業局長表彰)を2009年度から実施しています(今回で17回目)。
- 選考委員会での審査を経て、令和7年度の受賞者を決定（大賞1件、優秀賞4件）しましたので、本日発表します。
- 表彰式は、2026年2月26日（木）札幌国際ビル8階にて開催します（取材可）。また、表彰式後は「省エネセミナー」を開催します。

# 「北国の省エネ・新エネ大賞」（北海道経済産業局長表彰）の概要

## 目 的

北海道における省エネルギー・新エネルギーに関する有効利用、開発及び普及に係る取組において、著しい成果及び功績があり、他の模範となる者を表彰することにより、省エネルギーの推進及び新エネルギーの利用促進を図ることを目的としています。

## 対 象

北海道内において、以下の取組を行った組織又は個人を対象とし、公募します（自薦・他薦を問わない）。組織には、事業者のほか、グループや自治体、教育機関等を含みます（共同応募も可）。

- 省エネルギーの取組又は新エネルギーの活用により、エネルギーの有効利用を行った者
- 省エネルギー又は新エネルギーに関する技術・製品（サービスを含む）を開発・製造した者
- 省エネルギー又は新エネルギーの普及・啓発を行った者（事業として行った者を含む）

## 表彰の種類

- 北国の省エネ・新エネ大賞「大賞」（1件）
  - 北国の省エネ・新エネ大賞「優秀賞」（表彰件数は、選考委員会において決定）
- ※その他、選考委員会が特に必要と認める場合、「特別優秀賞」を選出することができます。

## 選考方法

学識経験者等で構成する「選考委員会」（委員長：北海道科学大学 半澤 久 名誉教授）が、以下の評価項目により審査し、受賞者を決定します。

- 省エネルギー対策や新エネルギー利用等の取組によるエネルギー削減効果や温室効果ガス削減効果、新エネルギー導入効果。又は普及・啓発活動による意識の醸成及びその貢献度。
- 先進性・独創性                      ● 汎用性・波及性                      ● 継続性・持続性
- 北海道の地域特性に即した取組                      ● 地域貢献度

## ■大賞（1件）

受賞者：幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム

＜幌加内町、きたそらち農業協同組合(深川市)、エア・ウォーター北海道株式会社(札幌市)、  
JFE条鋼株式会社(東京都)、株式会社巴商会(東京都)＞

テーマ：そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業

## ■優秀賞（4件）

受賞者：北海道ワイン株式会社（小樽市）

テーマ：地上太陽光×地下ヒートポンプの垂直統合型エネルギー供給システムによる持続可能なワインづくり

受賞者：株式会社トクヤマ（山口県）

テーマ：廃太陽光パネルの低温熱分解処理技術の開発

受賞者：社会福祉法人北海道博愛舎（夕張市）

テーマ：夕張市内の除排雪を活用した雪冷房

受賞者：株式会社竹中工務店北海道支店（札幌市）

テーマ：北国の環境文化を取り入れた ZEB テナントオフィスの設計

# 【大賞】 幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム

<幌加内町、きたそらち農業協同組合、エア・ウォーター北海道(株)、JFE条鋼(株)、(株)巴商会>

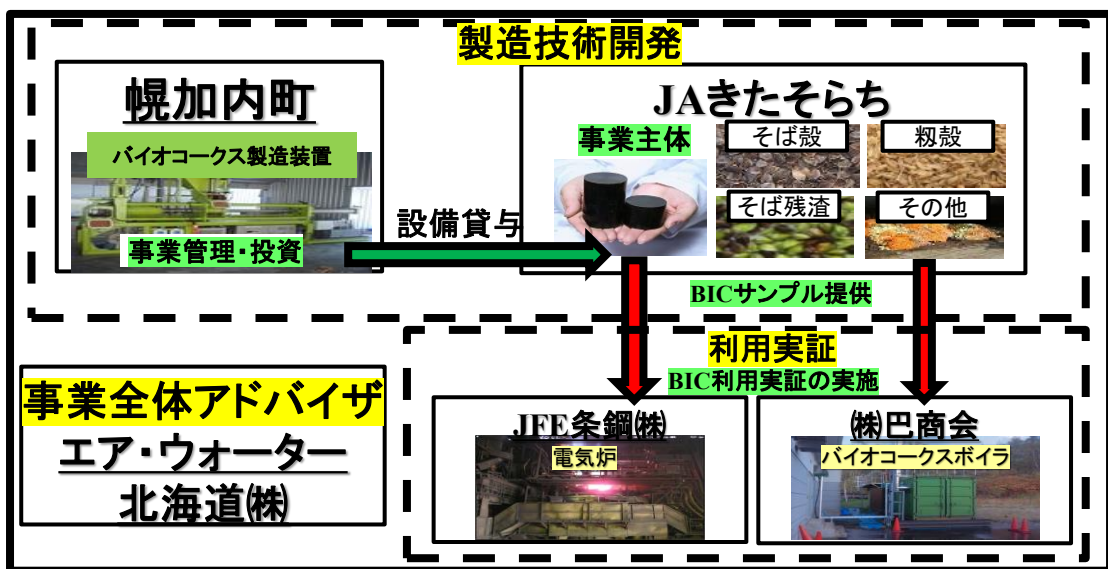
## ～ そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業 ～

### 背景

日本最大のそば生産量を誇る幌加内町において、生産量の増加に比例して発生する「そば殻」の有効な活用方法の探索が望まれていた。

### 取組

化石燃料と同等の発熱量単価を目指し、そば殻を主体原料とした低コストバイオコークス製造技術の開発・実証。



【低コストバイオコークス製造実証事業の概要】



【バイオコークス製造装置】

### 受賞ポイント

- 地域資源の活用によりコストを抑えつつ、バイオコークス化を図り、CO2削減を実現する先進的な脱炭素に向けた取組。
- 実証を継続し、製造工程・乾燥処理などプロセスを見直し、効果的な技術を確立。
- 持続可能な地産地消モデルを創出し、地域経済の活性化にも貢献、他地域へ横展開が可能。
- 2026年度からの商用操業を開始予定しており、北海道内のCO2排出削減の効果に期待。



# 【優秀賞】 北海道ワイン株式会社

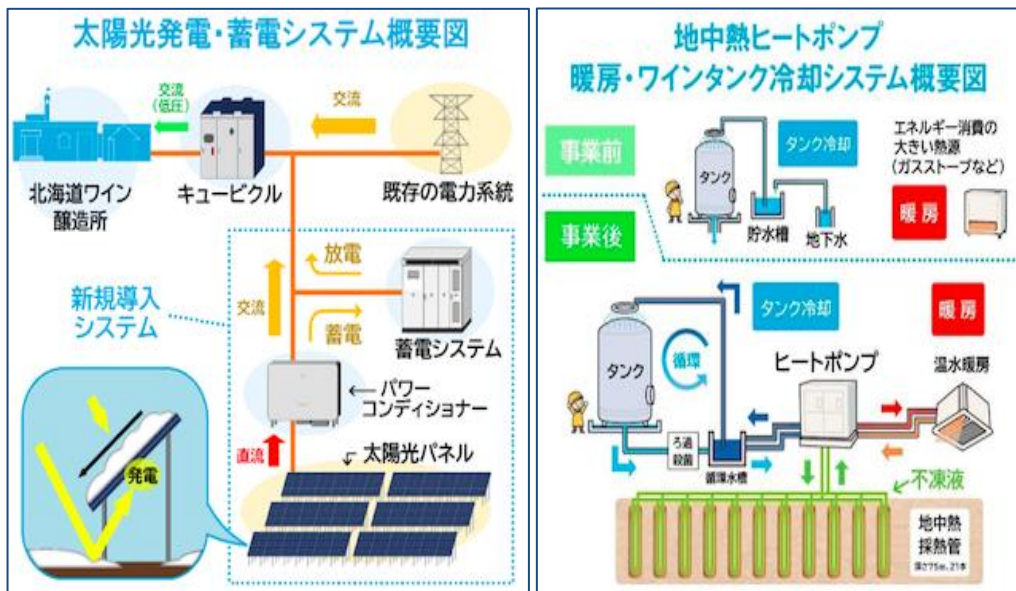
～ 地上太陽光×地下ヒートポンプの垂直統合型エネルギー供給システム  
による持続可能なワインづくり ～

## 背景

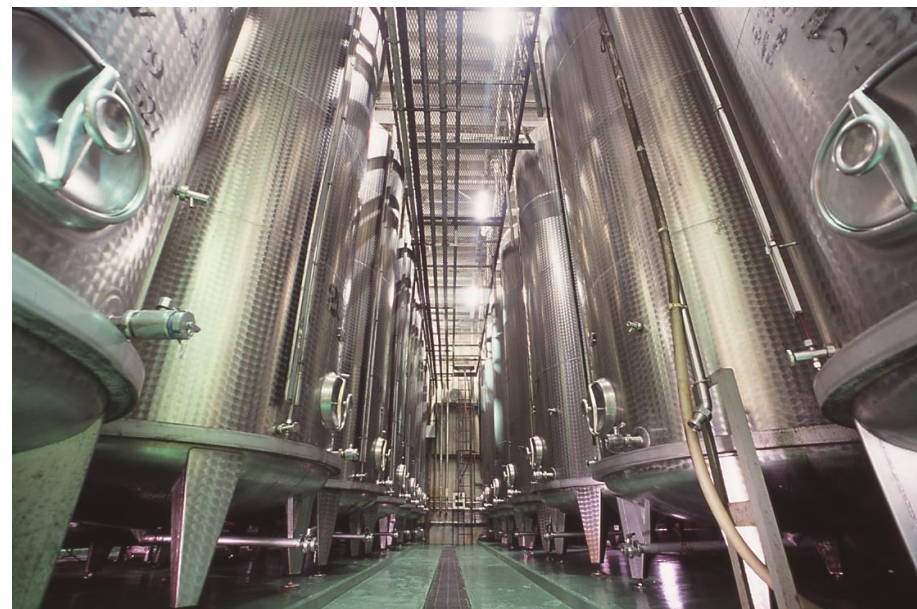
製造工程における電力消費・CO2排出量の削減と、地下水位低下に伴う冷却用水の確保が課題。

## 取組

太陽光パネルと地中熱ヒートポンプを組み合わせた「垂直統合型エネルギー供給システム」を導入。



【太陽光×ヒートポンプの新規導入システム】



【ワインタンク冷却水の再利用で水資源を保全】

## 受賞ポイント

- 太陽光発電と地中熱ヒートポンプを垂直統合型で設置、空間制約や景観保全を図る再生可能エネルギー導入モデル。
- 太陽光発電には蓄電システムを付設し、発電ロスの抑制とエネルギー活用効率の向上を実現。
- 地中熱ヒートポンプを導入し、ワインタンクの冷却や醸造所等の暖房にも活用。
- 小樽市と連携した災害時の一時避難所として、防災拠点のレジリエンス機能を高める。

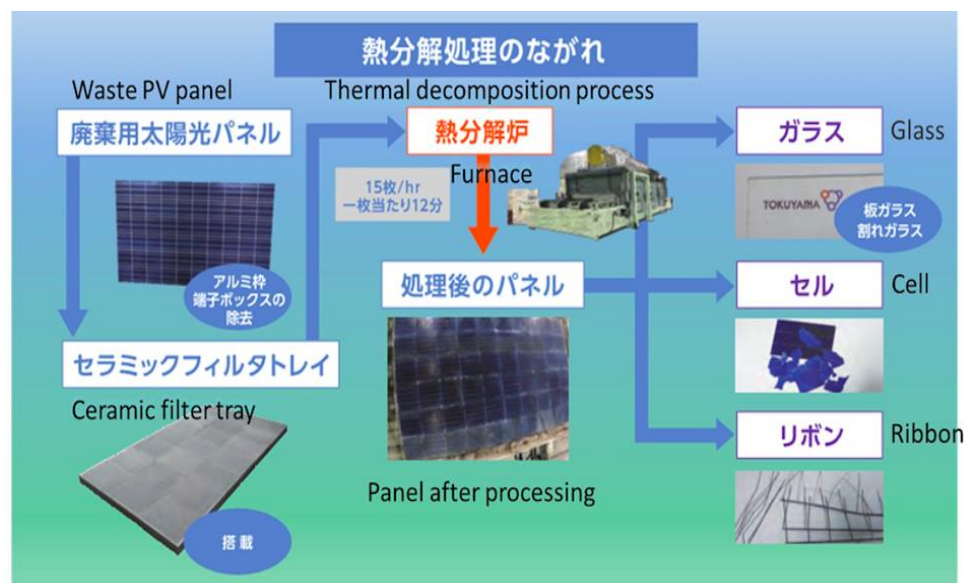
## ～ 廃太陽光パネルの低温熱分解処理技術の開発 ～

### 背景

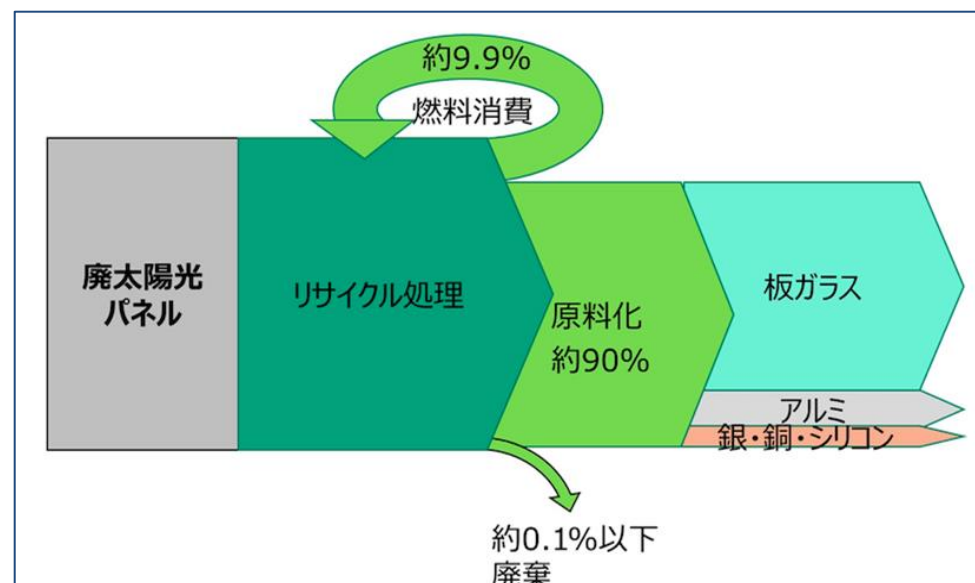
2030年以降、大量廃棄が予想される太陽光パネルを適切に処理し、資源循環させる仕組みを確立する必要性。

### 取組

低温熱分解処理技術を用いた廃太陽光パネルリサイクル技術を開発。



【低温熱分解処理の流れ】



【廃太陽光パネルの資源化モデル】

### 受賞ポイント

- 廃太陽光パネルの約90%を板ガラス・アルミ・銀・銅・シリコン（開発中）などに水平リサイクル。サーマルも含めると、ほぼ100%に近いリサイクル率を実現。
- 業界に要求される高い品質基準を満たすフロートガラス原料化（リサイクル）に日本で唯一成功。
- 「使用済太陽光パネル資源循環推進・北海道コンソーシアム(2025年設立)」に参画し、当該技術の活用展開により、道内におけるサーキュラーエコノミーに貢献していく。



# 【優秀賞】 社会福祉法人北海道博愛舎

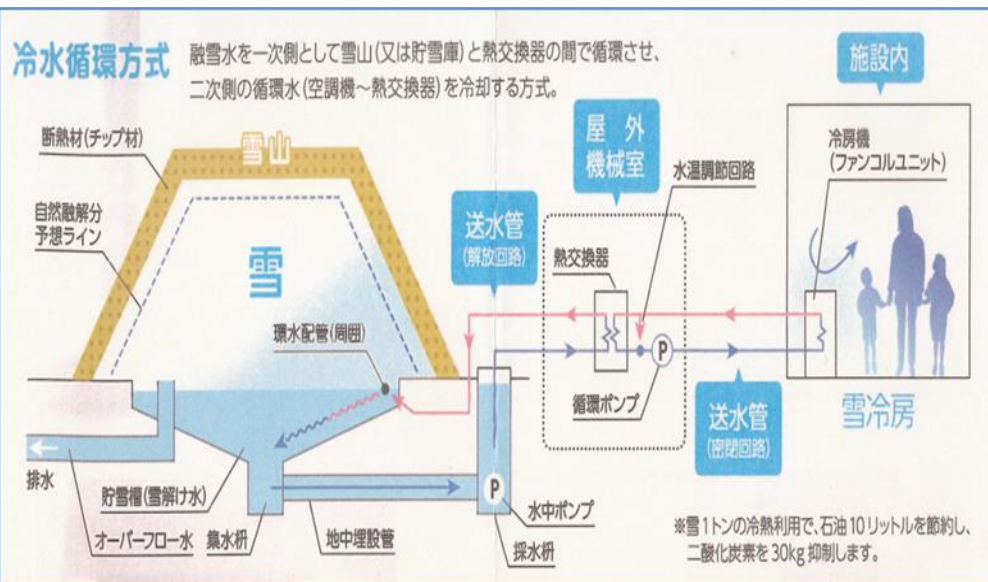
## ～ 夕張市内の除排雪を活用した雪冷房 ～

### 背景

身体障がい者等がクリーニング全般に従事しており、作業の性質上、室温が相当上昇する執務環境の改善が課題。

### 取組

夕張市とコンソーシアムを締結し、近隣地区の排雪を活用する雪冷房システムを導入。



【雪冷房システム図】



【貯蔵した雪を冷熱資源として再活用】

### 受賞ポイント

- 豪雪地帯である夕張市の未利用雪を活用する「雪冷房システム」を導入。環境負荷が低く持続可能な技術であり、電気式冷房と比べ運用コストとCO2削減を達成。
- 夕張市と連携し、施設に隣接する地区から排雪を受け入れ、収集・運搬コストを削減したほか、雪山の維持管理等は地元施工会社と連携するなど、地域貢献度が高い。
- 新エネルギー導入の好事例としてPR効果が大きく、他の降雪地域への普及拡大に期待。

# 【優秀賞】 株式会社竹中工務店 北海道支店

## ～ 北国の環境文化を取り入れたZEBテナントオフィスの設計 ～

### 背景

厳しい冬の寒さをもつ北国の気候風土を分析した環境デザインで、省エネ型のテナントオフィスビルの実現を目指す。



### 取組

省エネ化が課題とされている「寒冷地×大規模×テナントオフィス」において、設計段階でZEB Readyを達成。



【北国の気候に対応したZEBテナントオフィス】



【明るさ感と省エネを両立した照明】

### 受賞ポイント

- 北国の気候特性・風土に対応、環境デザインも取り入れた独自設計により、省エネ化が難しいとされるテナントオフィスビルにおいて、設計段階でZEB Readyを達成。
- 札幌駅周辺の再開発に先駆けた取組であり、道内テナントオフィスで初となるCASBEE-スマートウェルネスオフィス認証Sランク<sup>(※)</sup>を取得。
- 管理者と設計者が連携し、建物のエネルギー性能を継続的にモニタリング。

※主にビルなどの建物内で働く人が、健康で生産的に活動するための環境性能を評価するツール。

# 『表彰式』及び『省エネセミナー』開催概要

## 表彰式

**日時：2026年2月26日（木）13:00～14:00**

**会場：札幌国際ビル8階「A会議室」（札幌市中央区北4条西4丁目）**

**参加者：関係者限り（取材可、写真撮影可、詳細は別紙参照）**

※表彰式では、一般財団法人省エネルギーセンター北海道支部長表彰（省エネ推進功労者）及び北海道電気有効活用委員会委員長表彰（エネルギー管理功績者）も併せて行います。

※受賞者の事例紹介動画を当局ウェブサイト及びmeti channel（動画共有サイト YouTube）に掲載します。

## 省エネセミナー

**日時：2026年2月26日（木）14:30～16:30（受付14:00～）**

**会場：札幌国際ビル8階「国際ホール」（札幌市中央区北4条西4丁目）**

**定員：会場参加（80名程度）・オンライン参加（150名程度）**

【参考】過去の受賞者については、北海道経済産業局ホームページ（以下URL）および二次元コード（右）から確認できます。

<https://www.hkd.meti.go.jp/information/energy/award.htm>

